

八雲町立山越小学校
学校だより
まごころ

至誠

学校教育目標

自ら考え 行動する子

第5号 令和5年7月24日発行

開校150周年



地域や保護者の皆様のご協力に感謝

校長 長谷川 美栄子

校長として山越小学校に赴任して4カ月。遠足や運動会などの恒例の学校行事とともに、開校150周年記念事業の一環として、壁画の制作やひまわりの植え込みに取り組みました。また、地域の行事も復活し、町内会のイベントや神社の例大祭などに関わらせていただき、地域の皆様とお近づきになりました。さらに、野田生中学校区コミュニティ・スクールでは、東野小、野田生小、山越小、浜松小4校での田植え体験やトンネル工事見学学習（4年生以上）など、地域の特色を生かした充実した教育活動を行っています。

これまで、様々な場面で地域や保護者の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。たくさんの方々に支えていただき、心から感謝申し上げます。

この4カ月を振り返ると、山越小学校の子供たちが、日々の活動の中で、身近にいる様々な大人の姿を見て育っているのだということを感じます。地域の方や保護者が、「自分たちの子供のころは、……」とお話しされるのを聞くとなおさら、子供は、何気ない日常の中の大人の姿を記憶し、徐々に地域の一員として、次の世代にその姿を示していくのだと実感します。そして、このことが、学校では教えることができないとても大切なことだということにも気づかされます。子供たちは、地域の大人との関わりを通して、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けていきます。



国は、キャリア教育に関わる答申で、以下のように述べています。

人は、他者や社会との関わりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きている。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものである。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもあるが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取舍選択や創造を重ねながら取り組んでいる。

人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会に関わることになり、その関わり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものである。

夏休み期間は、ぜひ、家の手伝いをしたりラジオ体操や地域行事に積極的に参加したりして、いろいろな人と関わりをもってほしいと思います。また、ご家庭で、家族の仕事のこと、家族や親せきのこと、ご近所さんのことなど、子供たちを取り巻く身近な人たちについてお話しする機会をもっていただければと思います。地域の皆様におかれましても、日常のちょっとした場面や地域の行事などで、子供たちに声かけをしたり関わったりしていただけると嬉しいです。そういう環境で育った子供たちは、将来、地域や身近な人を大切に、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる大人へと成長することでしょう。

8月行事予定

14 月	学校閉庁日	25 金	水泳学習③
15 火	学校閉庁日		クラブ④(スポーツ教室)
16 水	学校閉庁日	28 月	とうもろこし収穫体験
21 月	150周年役員会	30 水	合同宿泊研修(5年)
24 木	夏休み明け集会 午前授業(給食なし)	31 木	合同宿泊研修(5年) 移動図書

音読がんばっています（1・2年生）

国語の学習では、教科書の音読に取り組み、正しくスラスラ読めるようになるまで、繰り返し練習しているところです。初めは、読み間違いをしたり途中でつまったりしましたが、練習を重ねることで、少しずつ上達が見られます。「昨日よりも今日」、「今日よりも明日」と、前向きに練習する子供たちの姿が大変素晴らしいです。

また、正しい文節で区切りながら、正確に読むことができるようになってきています。「文節で区切る」とは、例えば、「おじいさんが植えたかぶが」という一節を、「お・じ・い・さ・ん・が」と1音1音読むのではなく、「おじいさんが・植えた・かぶが」と区切って読むことです。音読する際に、文節を意識して読めるようになることで、文章の意味が理解しやすくなります。

音読は、学習の基本の一つです。これからも、音読を大切に学習を進めます。ご家庭でも、声を出して読むことを促すとともに温かい声掛けをお願いします。



トンネル見学（5・6年生）

町内では現在、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の工事が進められています。7月11日（火）、八雲町複式小学校4～6年生を対象とした野田生トンネル（南）工事見学学習が行われました。

天気はあいにくの雨でしたが、バスに乗り、作業坑からトンネルの中に下りていくと、子供たちから「おおー…!」「広い…!」という歓声があがりました。新幹線のトンネルは、普段車で通るトンネルよりも大幅に広く大きかったです。

トンネル内部の水をきれいにする仕組みや安全に掘り進めるための工夫を説明していただいた後、子供たちは、トンネルの壁にメッセージを書きました。新幹線が通る時には見えませんが、作業をする方々の励みになるそうです。子供達にとっても一生残る思い出です。あらたさんが代表して感想を述べたように、普段見ることができない場所を見学させていただき、学びの多い見学学習となりました。



外国語活動（特別支援学級）

小学校の外国語活動は、外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることがねらいです。

13日（木）、あおぞらの2人は、3年生になって3回目の外国語活動を行いました。今回の学習では、アイルランド出身のモルウェナ先生と一緒に「YES, NO ゲーム」に取り組みました。まず先生が、座っている人の肩に触れながら「YES」「NO」と言って歩き回ります。「YES」と言われた人は、席を立たなければならず、空いた席には先生が座ります。「YES」と言われて立った人が、次に「YES」「NO」を言う役になります。

子供たちは、先生の動作から英語の言葉の意味を推測しゲームのルールを理解します。モルウェナ先生は、ジャスチャーを交えながら楽しく取り組めるよう工夫してくださりました。そのおかげで、子供たちは、英語に馴染みながら積極的にコミュニケーションを図り、学習することができました。



合同水泳学習

5日（水）と14日（金）、野田生小学校と合同で水泳学習を行いました。遠足や田植え等で一緒に活動したことですっかり顔なじみになり、習熟度別グループによる学習でも、普段一緒にいる友達のように互いに声をかけたり励まし合ったりする姿が見られました。

なお、水泳学習は、8月にあと1回実施します。



ありがとうございました

特別支援教育支援員の中村愛実先生が、11日付で浜松小学校へ異動になりました。急なお知らせとなったため、子供たちは皆驚いていましたが、離任式では、感謝の気持ちを校歌と態度で伝えることができました。

中村愛実先生、今まで山越小の子供たちのために、本当にありがとうございました。

